



国立大学法人

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

平成23年 3月15日

東北地方太平洋沖地震における長崎大学の支援について ③

東北地方太平洋沖地震の支援のための長崎大学の活動状況について、別紙のとおりお知らせします。

なお、今後は毎日正午を目途に支援活動の進捗状況等をお知らせしていく予定です。

また、長崎丸乗組員等、支援活動を行っているものへの直接の連絡は活動の妨げになりますので控えていただきますようお願いします。

【問い合わせ先】

長崎大学広報戦略本部 Tel : 095-819-2868

東北地方太平洋沖地震における長崎大学の状況について

1. 活動・支援状況

(1) DMAT

- ・派遣していた医療従者は3月14日に帰崎済み

(2) 緊急ひばくしゃ医療対応

- ・昨日は福島市内の避難所でひばくの確認の業務に従事、本日は福島県立医科大学で活動予定
- ・大津留 晶（あきら）准教授が放射線医学総合研究所（千葉県）に本日午後2時出発。

(3) 附属練習船長崎丸

- ・8:30時点で宮崎県の都井岬沖を順調に航行中、本日四国沖まで航行予定。
- ・派遣者の健康状況は良好。（乗船者リスト※別紙1）
- ・長崎大学からの支援物資は、乾電池、粉ミルク、ほ乳瓶、毛布、マスク、手指消毒液、紙皿、トイレトペーパー、ポリ袋、段ボール等。（約430万円）

(4) 山本太郎教授（熱帯医学研究所）（AMD A※別紙2）

- ・3月13日、車に救援物資と食糧を積み東京立つ。14日0時頃新潟に到着し、そこで緊急支援車両としての通行許可書を取得。同日夕刻仙台に到着し、本日釜石市に医薬品を持って入る予定。

(5) 鈴木基（もとい）助教（熱帯医学研究所）

- ・国境なき医師団の要請により被災地に。現在、仙台に滞在中。三陸海岸の避難所で取り残された、医療へのアクセスのない避難民のところに向かう予定。

(6) 学生ボランティア

- ・住吉のチトセピアの前で学生団体長崎 SHIPS が、16:00～18:00から募金活動を行う予定。

東北地方太平洋沖地震に対する長崎大学からの応援派遣者一覧

【教職員・学生】

	氏名	ふりがな	性別	所属	備考
1	調 漸	しらべ すずむ	男	理事(研究・社会貢献担当)・副学長	副団長
2	萩原 篤志	はぎわら あつし	男	水産学部副学部長・教授	
3	田山 淳	たやま じゅん	男	保健・医療推進センター・カウンセリング部門長・准教授	
4	原田 直樹	はらだ なおき	男	病院研修医	
5	森山 良英	もりやま よしひで	男	研究国際部研究企画課 産学連携室長	
6	濱本 俊彦	はまもと としひこ	男	財務部調達課 第二調達班長	
7	一橋 透	いちはし とおる	男	財務部財務課予算企画室 主査(予算第二)	
8	平瀬 友彦	ひらせ ともひこ	男	総務部人事企画課 班員	
9	土屋 善史	つちや よしふみ	男	生産科学研究科 修士 1年	
10	松岡 広明	まつおか ひろあき	男	工学部1年生	
11	野田 晃成	のだ あきなり	男	医学部3年生	

【乗組員】

1	吉村 浩	よしむら ひろし	男	船長／教授	
2	青島 隆	あおしま たかし	男	一等航海士／准教授	
3	山脇 信博	やまわき のぶひろ	男	一等航海士／准教授	
4	清水 健一	しみず けんいち	男	二等航海士／助教	
5	内田 淳	うちだ じゅん	男	航海士／助教	
6	三木 和昌	みき かずまさ	男	事務長	
7	松島 英昭	まつしま ひであき	男	通信長	
8	桐 博昭	きり ひろあき	男	機関長	
9	藤田 卓也	ふじた たくや	男	一等機関士	
10	松山 晃	まつやま あきら	男	二等機関士	
11	横田 和治	よこた かずはる	男	機関士	
12	中尾 直幸	なかお なおゆき	男	機関員	
13	近藤 利徳	こんどう としのり	男	司ちゆう長	
14	松本 茂	まつもと しげる	男	司ちゆう次長	
15	野口 隆二	のぐち りゆうじ	男	司ちゆう手	
16	近藤 芳正	こんどう よしまさ	男	操機長	
17	浦 敬文	うら よしふみ	男	操舵手	
18	藤原 典夫	ふじわら のりお	男	操舵手	
19	三田 昭弘	みた あきひろ	男	操舵手	
20	熊 慶志	くま けいし	男	操機手	
21	中山 一夫	なかやま かずお	男	甲板長	
22	長尾 武	ながお たけし	男	甲板次長	

救える命があればどこへでも 国連経済社会理事会 総合協議資格

English


 サイト内を検索

検索

☆!

▶ ホーム

▶ 世界平和と
相互扶助▶ AMDA
多国籍医師団▶ 市民参加型相互扶助
人道支援外交▶ AMDA 合同
医療ミッション▶ AMDA
25周年資料館

▶ トップ > AMDAとは > AMDAとは

AMDAとは

- ・ AMDA概要
- ・ AMDAの生い立ち
- ・ 設立趣意書
- ・ 役員名簿
- ・ AMDAグループ代表
- ・ AMDA代表表彰
- ・ 個人(菅波茂)表彰
- ・ 収支計算書
- ・ 貸借対照表
- ・ 定款

AMDA(特定非営利活動法人アムダ)概要

AMDA

相互扶助の精神に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開。世界30カ国にある支部のネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して実施しています。

1984年に設立、本部は岡山市。2001年8月30日、岡山県より「特定非営利活動法人」格を取得しました。

1995年に、国連経済社会理事会(UNECOSOC)より「特殊協議資格」を、2006年に「総合協議資格」を取得しました。

AMDAの国際人道支援活動は相互扶助の精神、つまり「困ったときはお互いさま」の心に基づいており、「人道援助の三原則」(ボランティア三原則にも置換えられる)を活動成功の鍵としています。

1. 誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある
2. この気持ちの前には、国境、民族、宗教、文化等の壁はない
3. 援助を受ける側にもプライドがある

AMDAとは、The Association of Medical Doctors of Asia(設立時の名称:アジア医師連絡協議会)の頭文字をとったものです。

MENU

- ① 緊急救援
- ② AMDAの活動
- ③ トピックス
- ④ AMDAとは
- ⑤ ご支援のお願い
- ⑥ 支援者紹介
- ⑦ 出版物・メルマガ
- ⑧ お問い合わせ